

内閣総理大臣  
小泉純一郎様

## 暴力の連鎖を断ち切る慎重な行動を

9月11日朝、アメリカ合州国において同時多発テロとみなされる事件が起きました。私たちキリスト教会は「剣をとる者は、剣で滅びる」（マタイ26：52）と言われ、あえて十字架の道を歩まれ、平和を造り出されたイエス・キリストに従う者として、あらゆるテロリズムに断固反対するとともに、アメリカ合州国が「剣には剣を」、「暴力には暴力を」という報復行動による暴力の連鎖に陥らないように祈ります。人は神の名によって自らとその暴力を正当化することなく、むしろ神の前に謙り、異質な隣人と共に生きるべきであります。

日本政府は一部マスコミの感情的挑発に乗ぜられることなく、アメリカ合州国の良き友人としてアメリカ政府が冷静な対応ができるように助けるべきです。そして、よもや、私たちの反対にもかかわらず政府・与党が成立させたいいわゆる「新ガイドライン関連法」を良いことに、日本政府がこの暴力の連鎖に荷担することがあってはなりません。

私たちはテロ行為の被害者たち、そして、その家族たちを覚えて祈ると共に、日本政府が邦人被害者の救援はじめ国際社会において武力ではない、平和的、人道的貢献を目指すことができるように祈っています。

2001年9月13日

日本バプテスト連盟宣教研究所